



傷ついた大切な焼き物を再生します。金継ぎは単に補修でなく、新しく装飾を加えたり、オリジナルと別の作品にもなります。再び形がよみがえる楽しさを味わって下さい。

本来は漆、金粉、砥粉、を使用しますが、ここではエポキシ系接着剤、瞬間接着剤、新漆、金箔を使います。



金継の使用例。左の小皿は食器洗乾燥機を使い接着剤がはがれた。 絵具で色合わせ。



エポキシ接着剤の経年退色例。瞬間接着剤エポキシ接着剤、100円ショップで。



新漆、釣具屋で約300円。水彩絵の具。弁柄。食品用金箔、ケーキ材料店約2500円。

接着剤の選び方

	瞬間接着剤	エポキシ接着剤	水中ボンド
細いヒビ	○	○	
太いヒビ		○	○
割れ		○	○
欠け			○

エポキシ接着剤は合成樹脂であり、陶磁器と熱膨張が違うので、いずれは効果がなくなりはがれます。室内で30年程度。また紫外線により色が変わるので、注意して下さい。

水中ボンド



水中ボンド同量を水をつけた指で練り合わせる。割れた両小口にぬり、合わせる。



圧着し、はみ出部分はヘラで取る。破片の無いところは作る。



1日後硬化、カッターで落とし紙ヤスリ仕上げ。筆を薄め液に浸し弁柄、漆を小皿に。



筆でよく混ぜ接着剤の上に塗る。金箔を弁柄漆にのせる。3日後筆で静かに掃く。

エポキシ接着剤、瞬間接着剤、水彩絵の具



エポキシ接着剤は反応を良くする事と、毒性を押さえるため100回以上混ぜる。硬化後はカッター、耐水ペーパーで水研ぎ仕上げ。以降漆、金箔は同じ。



瞬間接着剤は、細いヒビに染みこまさせて使う。硬化後2～3回繰り返し翌日、カッター、耐水ペーパーで水研ぎ仕上げ。以降漆、金箔は同じ。



水彩絵の具は水中ボンドに混ぜて色目地に。水中ボンドは水に馴染み、陶器の素地と似た質感なので、色目地を作り釉薬のかかって無い部分の修理に良い。



※接着剤の毒性について

説明書によると接着剤には毒性があり、食器には使えない、新漆は毒性の強い物ではないが、念のため食器に使わないようにとあります。

ですから食器には接着剤単独でなく、新漆を上に塗ると好いと思います。自己判断で使用して下さい。

水彩絵の具については、食器用ではないが子供の使う物なので毒物では無いとの事です。

※接着剤の経年劣化について

合成樹脂であり、陶磁器とは熱膨張が違うので、いずれは効果がなくなりはがれます。おおむね室内で30年程度。紫外線により色が変わるので、注意して下さい。